

2014年12月7日 第23回 川口カップ 会長杯女子決勝戦

【白】狭山ラビッツ (以下、狭山)

【青】吹上ミニバス (以下、吹上)

第23回大会決勝戦はお互いに川口カップ初優勝を懸けた戦いとなる。
特に吹上は3度目の決勝戦進出で悲願の初優勝を目指す一戦となった。

1Q

試合開始、両チームともゾーンディフェンスで始まった。狭山は#4、#6で得点を重ねていく。対して吹上は#4のミドルシュートで得点する。お互い静かな立ち上がり。9-10で1Q終了。

2Q

吹上の2-2-1ゾーンディフェンスが機能し始める。狭山は懸命にボールを運ぶも、吹上#5、#8、#10で得点を重ねる。たまたま狭山はタイムアウトを請求。しかし流れが変わらず、14-33と吹上が19点のリードで前半終了。

3Q

後半に入っても、吹上がリズムをつかむ。2Q同様2-2-1ディフェンスからの得点を重ねていく。対する狭山も#4、#7でシュートを放つも、なかなか決まらず、21-45で、3Q終了。

4Q

最終Q始まるも、吹上ペース。前半同様ゾーンディフェンスからの得点を重ねていく。対して、狭山はセンター#7にボールを集め、得点する。何とかして流れを変えたい狭山。2回目のタイムアウトを請求。その後追撃するも、27-52でタイムアップ。吹上が川口カップ悲願の初優勝を飾った。

両チーム共に、激しいディフェンス、巧みなハンドリング、素早いパスワークなど素晴らしい技術が披露され、まさに川口カップの決勝戦にふさわしい素晴らしい試合となった。この大舞台の決勝戦で、最後まで戦い抜いた両チームの選手達には、心より大きな拍手を送りたい。